

陶磁器タイルの改修保護に

セラミック浸透性吸水防止材

タイルセラクリーン[®]

Tile cera clean

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

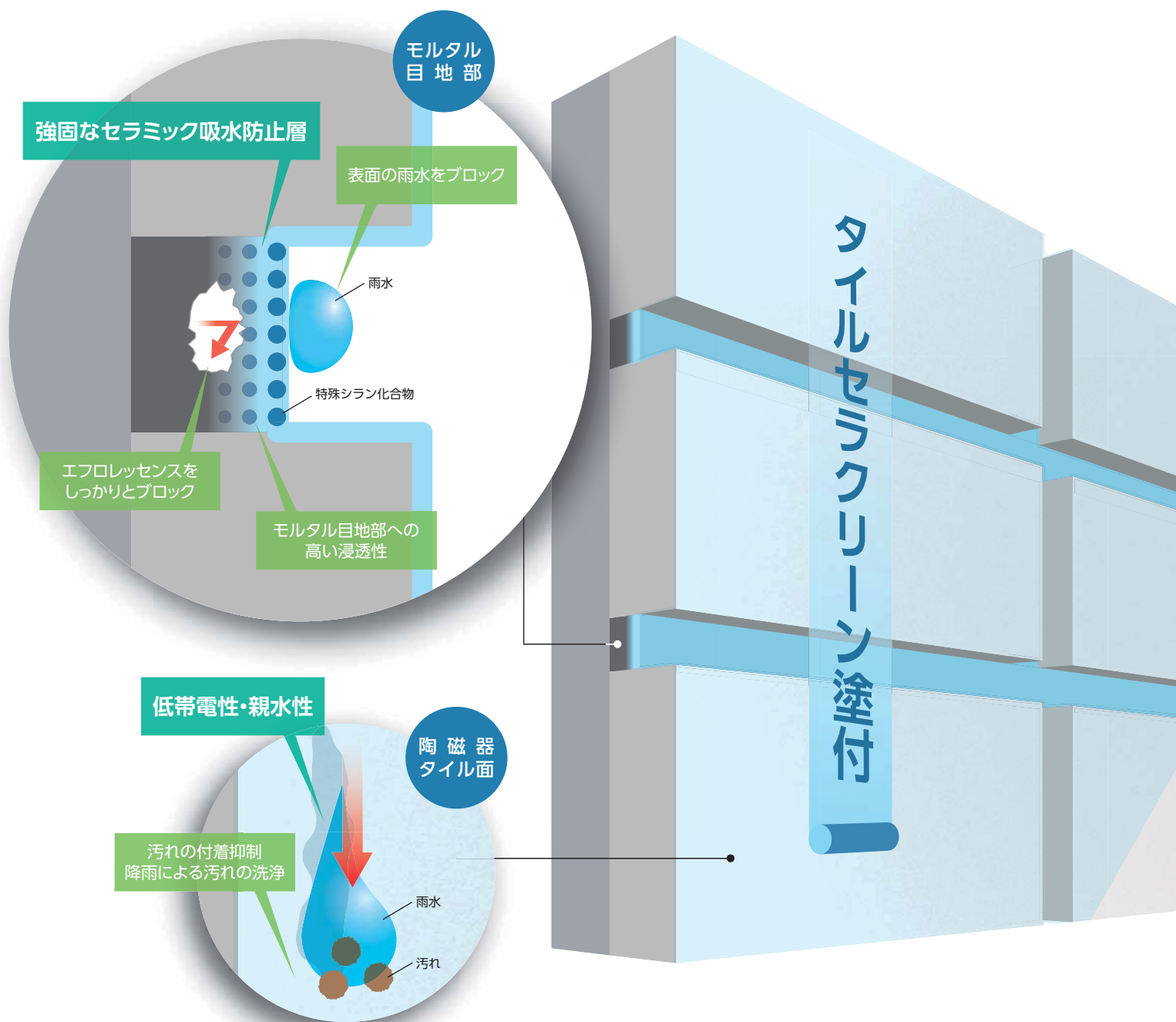


エスケー化研

強固なセラミック吸水防 雨水の浸入を防ぎます。

陶磁器タイルは耐久性の高い材料として、マンションや戸建住宅、商業ビルをはじめ、多くの建物に採用されています。タイル自体に経年による劣化はほとんどありませんが、モルタル目地部においては酸性雨や塩害、凍害等の影響により、徐々に劣化が進行します。

特に目地部への雨水の吸水の影響は大きく、表面だけでなく内部まで水が浸入し、中性化やエフロレッセンス等の劣化現象を引き起こします。



止層が



セラミック浸透性吸水防止材

タイルセラクリーン[®]

タイルセラクリーンによる陶磁器タイル改修保護工法

タイルセラクリーンは、浸透性に優れた特殊シラン化合物を主成分とした弱溶剤形のセラミック浸透性吸水防止材です。モルタル目地部の内部に深く浸透し、強固なセラミック吸水防止層を形成します。これにより、長期に亘り雨水の浸入を防ぎ、陶磁器タイル表面、モルタル目地部および躯体の劣化を防止します。



目地・躯体部
の劣化防止

目地の優れた吸水防止効果
エフロの発生防止

超 耐 久
超 低 汚 染

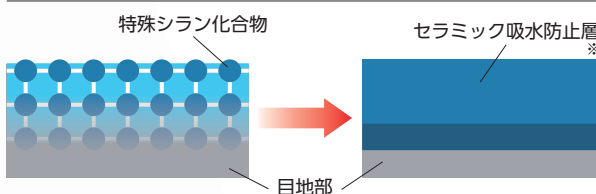
特 長



優れた浸透性

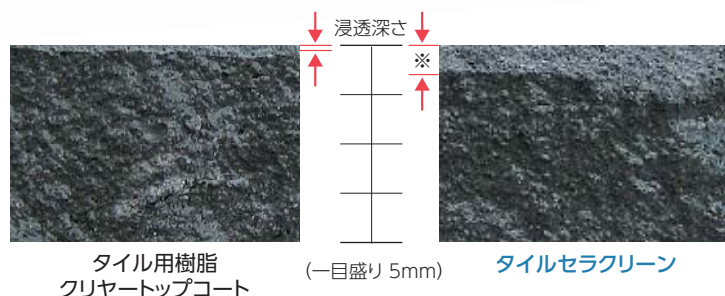
タイル用樹脂クリアトップコートでは発揮できなかったモルタル目地部への高い浸透性を示します。浸透した特殊シラン化合物はモルタル目地内部で 3 次元的に結合し、強固なセラミック吸水防止層を形成します。

■特殊シラン化合物の含浸・縮合によるセラミック吸水防止層の形成



※表面は時間の経過と共に、水がかかった場合に濡れ色になるが、セラミック吸水防止層は長期に亘って残存し、雨水の浸入を防止する。

■浸透深さ(モルタル層断面)

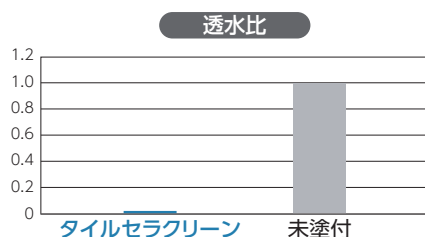


試験方法: モルタルを割裂し、表面に水をかけ、濡れ色を確認し、浸透深さを測定。



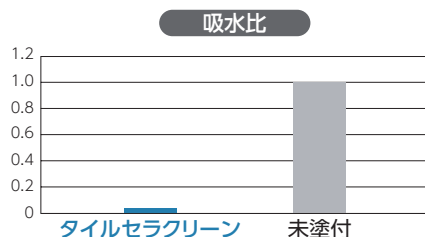
優れた吸水防止効果

モルタル目地部に深く浸透してセラミック吸水防止層を形成します。その浸透性吸水防止層がモルタル目地部への水の浸入を防ぎ、躯体を保護します。



$$\text{透水比} = \frac{\text{試料を塗付したものの透水量 (ml)}}{\text{試料を塗付しないものの透水量 (ml)}}$$

※透水比とは、未塗付の透水量を 1 とした時のタイルセラクリーンの透水量の比を表す

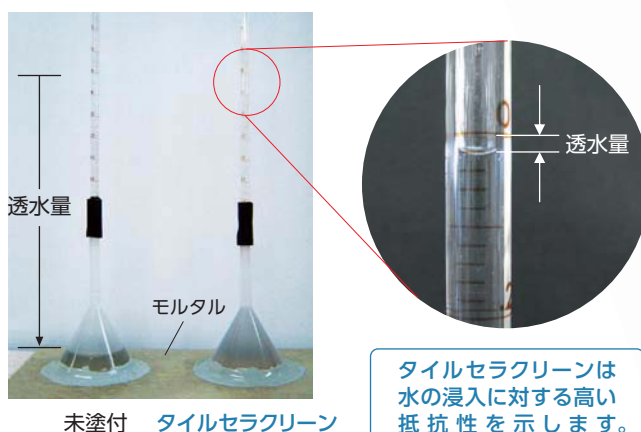


$$\text{吸水比} = \frac{\text{試料を塗付したものの吸水量 (g)}}{\text{試料を塗付しないものの吸水量 (g)}}$$

※吸水比とは、未塗付の吸水量を 1 とした時のタイルセラクリーンの吸水量の比を表す

■透水性試験

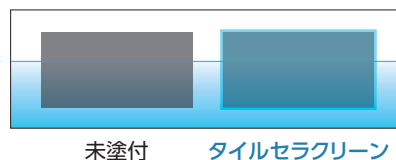
試験方法: モルタル板基材にタイルセラクリーンを塗付したもの、未塗付のものを試験体とする。写真のような透水試験器具をとりつけ、水を高さ 250mm まで入れる。24 時間静置したあとメスピペットの目盛りを読み取り、透水量を求める。



タイルセラクリーンは水の浸入に対する高い抵抗性を示します。

■吸水性試験

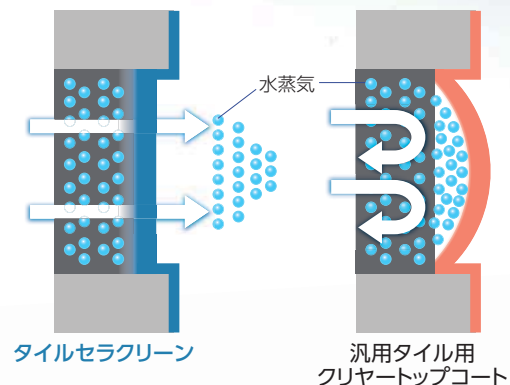
試験方法: モルタル板基材全面にタイルセラクリーンを塗付したもの、未塗付のものを試験体とし、その試験体を絶乾し、その後、図に示すように 24 時間水浸漬する。浸漬前後での重量を測定し、吸水量を求める。



3

水蒸気透過性

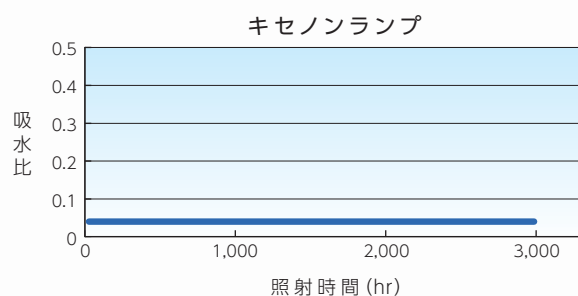
三次元網目構造を形成し、水蒸気透過性に優れています。



4

超耐久性

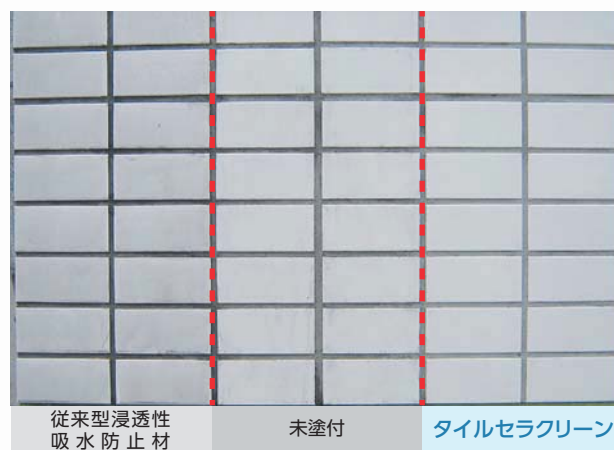
特殊シラン化合物が浸透することにより形成されたセラミック吸水防止層は、優れた耐久性を示し、長期に亘り吸水防止効果を発揮します。



5

超低汚染性

陶磁器タイル表面に形成された架橋セラミック層が汚れを寄せつけず、優れた低汚染性を発揮します。そのため、従来、浸透性吸水防止材による工法等に見られた陶磁器タイル表面の汚染を防ぐことができます。

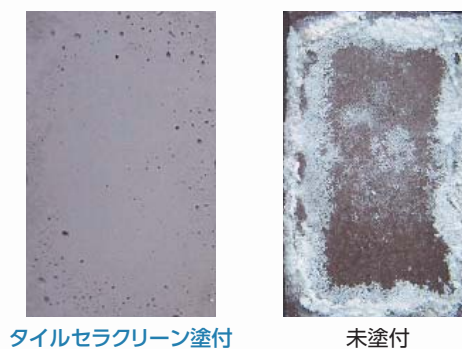


屋外暴露3ヶ月

6

エフロレッセンス防止

セラミック吸水防止層が裏面からの水廻りによる目地部のエフロレッセンスの発生を抑制します。



Ca(OH)₂水溶液に裏面浸漬 1週間

7

質 感 維 持

モルタル目地及びタイル表面の質感・風合いを損なうことなく、自然な仕上がりを提供します。従来のタイル用樹脂クリヤートップコートのように、目地が濡れ色になったり、陶磁器タイル表面の質感が変化する等の問題がありません。



8

低 臭 性

臭いを抑えた、低臭設計です。

性能試験成績表

日本建築仕上材工業会規格 NSKS-004 浸透性吸水防止材 による物性結果

項 目	結 果	規 格	試験方法
透水性	合 格	0.1 以下	24 時間静置後のメスピペットの水頭の高さの変化より透水比を算出
吸水性	合 格	0.1 以下	24 時間後の吸水量より吸水比を算出
温冷繰返し作用に対する抵抗性	合 格	0.1 以下	20℃ 18 時間、－ 20℃ 3 時間、50℃ 3 時間を 1 サイクルとして 10 サイクル繰返し、1 時間後の吸水量より吸水比を算出
遮塩性	合 格	3mm 以下	2.5% 塩化ナトリウム水溶液に 7 日間浸漬後の浸透深さを測定
耐アルカリ性	合 格	0.1 以下	水酸化カルシウム飽和水溶液に 7 日間浸漬し、1 時間後の吸水量より吸水比を算出
耐候性	合 格	0.1 以下	サンシャインカーボンアーク灯（WS 形）を 250 時間照射し、1 時間後の吸水量より吸水比を算出
塗付後の外観	合 格	変化がないこと	試料塗付 2 週間後の外観を目視で観察
浸透深さ	合 格	2mm 以上	試料塗付 2 週間後の浸透深さを測定

用途・適用下地

磁器タイル（施釉・無釉）、せつ器タイル壁面等の新築、または改装*

*ラスタータイルには使用できません。また、クリヤー塗装が施されている場合は、別途ご相談ください。

荷 姿

- ★**タイルセラクリーン** 12kg 石油缶（標準塗坪 60～100m²/ 缶）、3kg 缶（標準塗坪 15 ～ 25m²/ 缶）
- SK クリーナースーパー** 5ℓポリ容器
- タイルクリーン NEO** 4kg ポリ容器、20kgQB テナー

上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

標準施工仕様

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
1. 洗 淨	①一般的な軽微な汚染や微生物汚染は SK クリーナースーパーで洗浄してください。 (1) 汚れの状態に応じて SK クリーナースーパーを清水にて適宜希釈してください。 (2) 希釈した SK クリーナースーパーをスプレーなどの器具を用いて汚れている陶磁器タイルおよび目地表面に均一に塗付してください。 (3) 5 ～ 10 分 (23℃) 程度放置した後、ブラッシングを行いながら水洗いまたは高圧水洗にて十分に被塗面を洗浄してください。特に目地部に粉化物が残らないよう注意深く洗浄してください。 (4) 1 回で汚れが落ちない場合は上記工程を再度繰り返してください。 ②汚れの程度がひどい場合はタイルクリーン NEO で洗浄してください。 (1) タイルクリーン NEO を使用する場合はあらかじめ洗浄の対象となる磁器タイル面の軽微な汚れを清水で洗い流し、すぐに次工程に入ってください。 (2) タイルクリーン NEO は汚れの程度により清水で 0 ～ 3 倍を目安に希釈してご使用ください。 (3) タイルクリーン NEO を 40 ～ 60g/m² を目安として、ローラー、刷毛やモップ等で磁器タイルおよび目地表面に均一に塗付し、1 ～ 5 分程度放置した後、洗浄用パット (下記写真参照) 等を用いてブラッシングを行い、その後モップ等で拭取り、水洗にて十分被塗面を洗浄してください。特に目地部に粉化物が残らないよう注意深く洗浄してください。 (4) 上記工程で汚れが落ちない場合はブラッシングを行いながら塗付するか、あらかじめワイヤーブラシ、スクレーパー等を用いてこれらを除去してからタイルクリーン NEO を塗付してください。 ③洗浄後は洗浄剤が残っていないことを確認した上で、下地を十分に乾燥 (3 日) させてから次工程に入ってください。							
2. 上塗り	タイルセラクリーン	既調合	※ 1 0.12 ～ 0.20	2	※ 2 2 以内	—	※ 3 24 以上	ウールローラー 刷毛 スプレー

注) 改装工事における目地部などの下地処理は、別途最寄りの営業所までお問い合わせください。

※1 所要量は、陶磁器タイルや目地の種類によって異なりますので、ご注意ください。

※2 工程内の間隔時間を 2 時間以上開けると十分な性能を発揮できませんので、仕様を厳守してください。

※3 施工後、3 日以上放置後 (23℃) 撥水性を確認してください。

施工上の注意点

SK クリーナースーパー、タイルクリーン NEO

- (1) 水希釈の際は、必要以上に濃度を高めないでください。
- (2) 汚れに対し、希釈率に幅があります。テストしながら適性な希釈率を決定することが、最も経済的な方法です。
- (3) 目や口に入った場合は、速やかに水洗いしてください。
- (4) 取扱い作業時には保護手袋、保護眼鏡等を着用してください。
- (5) 樹木、植木及び池の観賞魚などに影響を及ぼすおそれがありますので、あらかじめ養生を行ってから、施工に入ってください。
- (6) これらの洗浄剤が塗装面やガラス面などに付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、あらかじめ養生を行ってから施工に入ってください。
- (7) 表面形状が粗く、物理的に汚れがとれにくい場合は、洗浄剤の使用を避けてください。
- (8) タイルクリーン NEO は酸性の洗浄剤であるため他の洗浄剤、漂白剤等と混合して使用することは避けてください。
- (9) SK クリーナースーパーの原液による使用は、浸透作用を妨げ、また洗浄効果を低下させる場合がありますので絶対に避けてください。
- (10) 養生を必要とする場合は、不浸透性のシートを使用してください。
- (11) これらの洗浄剤が残らないように大量の水で十分に水洗いしてください。水洗が不十分な場合、タイルセラクリーンの性能が低下し、剥離の原因となります。



参考：洗浄用パット例
(タイルクリーン NEO 用)

タイルセラクリーン

- (1) タイルセラクリーンをローラーで塗装する場合には、ウイナー型 (筒状でない) の毛丈 7mm 以上のローラーを推奨します。(目地の深さ、作業効率を考慮し、試し塗りを行った上で、ローラーの毛丈や種類を選択してください)
- (2) 深目地の場合には、スプレー又は刷毛塗りを行ってください。
- (3) 塗装後 24 時間 (23℃) 以内は、雨に当たらないようにしてください。
- (4) タイルセラクリーンは既調合の製品です。シンナー等の希釈剤により希釈せずにご使用ください。
- (5) 気温 5℃以下、湿度 85%RH 以上、降雨、降雪等が予想される場合での塗装は避けてください。
- (6) シーリング材は、原則として後打ちで施工してください。先打ちで施工する場合には、本製品でシーリングが溶解、膨潤等をしないことを確認した上で施工を行ってください。
- (7) シーリング材の周辺では、可塑性プライマー等が残存し、タイルセラクリーンが浸透しない場合があります。これらを取り除いた後、施工するようにしてください。
- (8) アルミサッシ等、金属部に付着すると、変色等の異状を生じることがあります。また、ガラスに付着した場合、除去しにくいことがあります。これを防止するため、あらかじめ養生を行ってから施工に入ってください。
- (9) 樹木、植木及び池の観賞魚などに影響を及ぼすおそれがありますので、あらかじめ養生を行ってから、施工に入ってください。
- (10) 取扱い作業時には保護手袋、保護眼鏡等を着用してください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。

特に★印の製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分注意してください。
- ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733

東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411

旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-254-3777 松山営業所 ☎089-958-3780
仙台営業所 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505
仙台住宅開発営業所 ☎022-388-8518 軽井沢工場 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸住宅開発営業所 ☎078-671-0451 大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-982-7673 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路営業所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-897-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島営業所 ☎082-943-5043 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3677-7770 名古屋住宅開発営業所 ☎052-569-8783 広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

【製作年月：2019年4月】（190410.Y-13）